

「社会保障の解体は許さない！憲法まもりいす社会をつくろう！！」

STOP！介護改悪 介護ウェーブ2016推進ニュース

-介護の“Big Wave”を広げよう！-



4.20 介護ウェーブ国会行動 (中央社保協と共催)

4月20日(水)中央社保協と共に国会行動と院内集会をおこない、約170名が参加し、民医連関係では19県連から119名が参加しました。

またこれまで集まった5,136筆の介護署名を提出しました(署名到達は157,631筆/4月19日時点)。

午前中は国会議員要請。今回は新入職員の方が多く、フレッシュな顔ぶれが目立ち、ベテラン職員さんといっしょに少し緊張した面持ちで議員会館を回りました。介護分野での要請は①地域支援事業への移



行など改正法施行に伴ってサービス利用に支障が生じないような対策を講じること、②軽度者の介護保険外しや利用料の引き上げをしないこと、③介護労働者の待遇改善、④3月の介護従事者待遇状況等調査の結果についてのレクチャーを、⑤熊本での大地震で被災した要介護者や家族の実態把握と支援、の5項目です。また、まだまだ余震が続く九州地方ですが、全国で唯一稼働をしている川内原発の即時停止も合わせて訴えました。72件訪問し、5名の衆・参議院議員と面会、他秘書の方に対応いただきました。



～参加者からの感想～

- 社会人1年目でこのようなことができるることは光栄に思います！(新入職員)
- 一人でも多くの方に笑顔になっていただきたいと思い入職した。しかし負担増や離職など知らないことばかりだった。(新入職員)
- 介護福祉士として介護の現場で長く働きたい、“働きやすい環境”“待遇改善”を求めていきたい(新入職員)
- 新人からも一言“先輩のように長く働きたいので、介護報酬の引き上げをお願いします”と言ってもらうようにしました。
- 民医連の職員として“医療や介護分野での患者・利用者負担を少しでも軽減していただき”という思いを、直接伝えることができたのは純粋にうれしかった。
- 医療・介護を提供するだけが、従事者の役割ではないと強く感じました
- 昨年からせっかく民医連に努めているから何か頑張りたい、と署名をがんばっています。今回実際に国会議員に手渡し、“ああ、こんな風にみんなの声が届いているんだ”他のスタッフにも国会行動に行ってみて！と伝えたい(15年以上のベテラン職員)
- 大して相手にしてもらえないのではと思っていたが、予想に反してしっかり話を聞いてくれた。聞くだけではなく政策に反映してほしい
- 介護を受ける本人だけでなく、家族や現場で働く職員にとっても優しい制度であってほしい
- 給与だけでなく、専門職として社会的地位の向上を
- ほとんどが秘書対応になるため、一見すると「成果」がないと感じられるが、山田先生の「何度も押しかけて訴えることが大事」という言葉が響いた。



当事者家族から切実な声も

午後は「安全・安心の医療・介護を！介護保険制度の改善を」求める院内集会を参議院議員会館一階講堂で行いました。林次長より「介護保険をめぐる情勢と取り組みについて」の報告と、全労連介護・ヘルパネットで取り組まれた「介護労働者の賃金・処遇状況アンケート」の結果報告がされました。

アンケート結果によると、「月の収入が増えた」労働者は5人に1人にとどまっています。8割を超える人が処遇改善加算を実感できていないと答えており、処遇改善はされているとは言い難い状況が続いている。また4割の労働者が今の労働条件(処遇)について不満を感じ、5割が「辞めたい」と答えています。この結果を見ても介護労働者の確保と働き続ける環境を作るためには、処遇の改善が早急に求められており、現場の声を発信し続けることが大切です。

その後厚労省要請では、各地の具体的な事例をもとに省担当者へ直接訴えを行いました。石川・社会福祉法人やすらぎ福祉会「特養待機者家族の会」の方より利用者側の立場から声が上がり、両親が90歳を超えた要介護度4の父、要介護度2の母を抱え単身で介護をしている方より、特養に入れず待機状態が続き、ショートステイでつないでおり、疲労困憊で毎日大変な状況という悲痛な訴えがありました。特養待機の現状は以前から問題になっているのにもかかわらず、なぜ改善されないので、税金の使い方が間違っているのではないかと怒りがこみ上げる、厚労省の担当者からは特養待機の課題では介護サービスの増加の加速を図っているところであり、10万人分の在宅サービスを整備していく予定との返答があったが、待機者解消の抜本的な打開策となるのか、との発言がありました。

また特養に家族が入っているという方から、「月7万円弱であった利用料が2割負担になって、倍額の13万7千円の負担となった。年間の所得のうち22万円が国保料や介護保険料、165万円を特養の利用料、残り97万円で生活しなければならない。幸い持家だが、ここから固定資産税や光熱費を差し引いて、わずかしか手元に残らない。」と、基準からすこし外れただけで負担料が大幅に増えるという制度設計に、やるせない苦しい現状が吐露されました。

東京・大田病院のケアマネジャーからは、介護施設ができても介護職員が集まらず開所が延期となっている実例が報告されました。そもそもの介護報酬を上げ、介護労働者の生活を支えるという観点で処遇改善を図っていかなければ、従事者の増加や離職の歯止めにはつながらないと訴えました。

次回は5月25日 民医連独自の国会行動です！

議員要請は大勢で何度も押しかけ圧倒し、現場の実情を届けていくことが大事です！(山田智医師談)

※詳しくは通達(42)第ア-045号(4月25日付)をご参照ください。

署名到達

157,631 筆

4/19現在

県連番号	県連名	合計
1	北海道	3,161
2	青森	2,809
3	岩手	1,835
4	宮城	3,056
5	秋田	0
6	山形	7,868
7	福島	3,154
8	茨城	890
9	栃木	0
10	群馬	3,842
11	埼玉	8,054
12	千葉	2,612
13	東京	12,301
14	神奈川	6,507
15	新潟	1,265
16	富山	1,644
17	石川	2,445
18	福井	3,046
19	山梨	3,048
20	長野	5,931
21	岐阜	3,139
22	静岡	155
23	愛知	4,163
24	三重	496
25	滋賀	343
26	京都	6,995
27	大阪	15,127
28	兵庫	6,594
29	奈良	2,142
30	和歌山	1,599
31	鳥取	2,398
32	島根	1,653
33	岡山	6,537
34	広島	1,600
35	山口	956
36	徳島	1,307
37	香川	1,908
38	愛媛	5,127
39	高知	3,084
40	福岡・佐賀	9,681
42	長崎	2,203
43	熊本	1,542
44	大分	311
45	宮崎	1,419
46	鹿児島	2,087
47	沖縄	1,520
50	全日本	77
	合計	157,631



お問い合わせは「介護ウェーブ推進本部」事務局：吉澤、東

03-5842-6451 / fax03-5842-6460 E-mail : min-kaigo@min-iren.gr.jp